

# 令和5年度上半期 双海中山商工会地域景気動向

双海中山商工会

本レポートは、愛媛県が公表する各種経済動向調査の概要を半期毎にとりまとめ、本商工会地域の事業者の景況調査結果を加え報告するものです。動向を測るため、9月調査と3月調査を比較しています。

## (1) 愛媛県内経済情勢

愛媛県では、各種経済指標や県内産業の動向をとりまとめ、毎月月末をめどにホームページ上で「最近の県内経済情勢」として公表しています。その中から、経済概況を抜粋して掲載します。

(資料)愛媛県産業政策課「最近の県内経済情勢（令和5年9月）より

[jousei2702 \(pref.ehime.jp\)](http://jousei2702.pref.ehime.jp)

### 1 経済概況

一部で弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。

前回との比較 →

#### ○個人消費

全体としては緩やかに持ち直している。

前回との比較 →

【百貨店・スーパー販売額】前年同月比1.9%増、2か月連続で前年を上回る。

【専門店販売額】ドラッグストアは26か月連続で前年を上回る。

家電大型専門店、ホームセンターともに2か月ぶりに前年を下回る。

【コンビニエンスストア販売額】21か月連続で前年を上回る。

【新車販売台数】軽乗用車は2か月ぶりに前年を上回り、普通乗用車は8か月連続で前年を上回る。

#### ○住宅・公共工事

住宅着工は弱めの動きがみられる。

前回との比較 →

公共工事は持ち直しつつある。

前回との比較 →

【新設住宅着工戸数】前年同月比20.7%減少、2か月ぶりに前年を下回る。

【公共工事】請負金額の前年同月比は5.5%増加、3か月ぶりに前年を上回る。

#### ○生産活動

このところ弱い動きとなっている。

前回との比較 →

【鉱工業生産指数】前年同月比(原指数)4.5%低下、8か月連続で前年を下回る。

石油・石炭製品、輸送機械、汎用・生産用機械の業種で前年を上回る。

非鉄金属、食料品、パルプ・紙・紙加工品等の業種で前年を下回る。

#### ○雇用・所得

雇用情勢は、求人が求職を上回って推移しているものの、改善の動きが弱まっている。今後も物価上昇等が雇用に与える影響に注意する必要がある。

前回との比較 →

雇用者所得は概ね横ばい圏内の動きとなっている。

前回との比較 →

【有効求人倍率】1.36倍と2か月ぶりに前月を上回り、6か月連続で前年を下回る。

【正社員有効求人倍率】1.11倍と、2か月連続で前年を下回る。

【現金給与総額】名目では前年比3.2%増、2か月連続で前年を上回る。

## (2) 本商工会地域景況調査結果

本商工会では、地域経済の動向調査分析をおこない事業者支援に活用するために、中小企業景況調査を実施しました。

### 1. 調査概要

#### 【事業者選定】

- ・4業種別、従業員数（0-5・5-10・10以上）別に調査企業を21社選定

#### 【調査内容】

##### ① 今期の状況

- ・前年度と比較、また来期（10月-3月）の見通し
- ・売上高、資金繰り、原材料（仕入れ）単価、採算、従業員数等

##### ② 新規設備投資について

##### ③ 経営上の問題点（業種別・選択式）

##### ④ コメント

#### 【調査方法】

- ・事前に選出した調査対象企業へ巡回にて調査及び回収。
- ・調査結果をまとめる

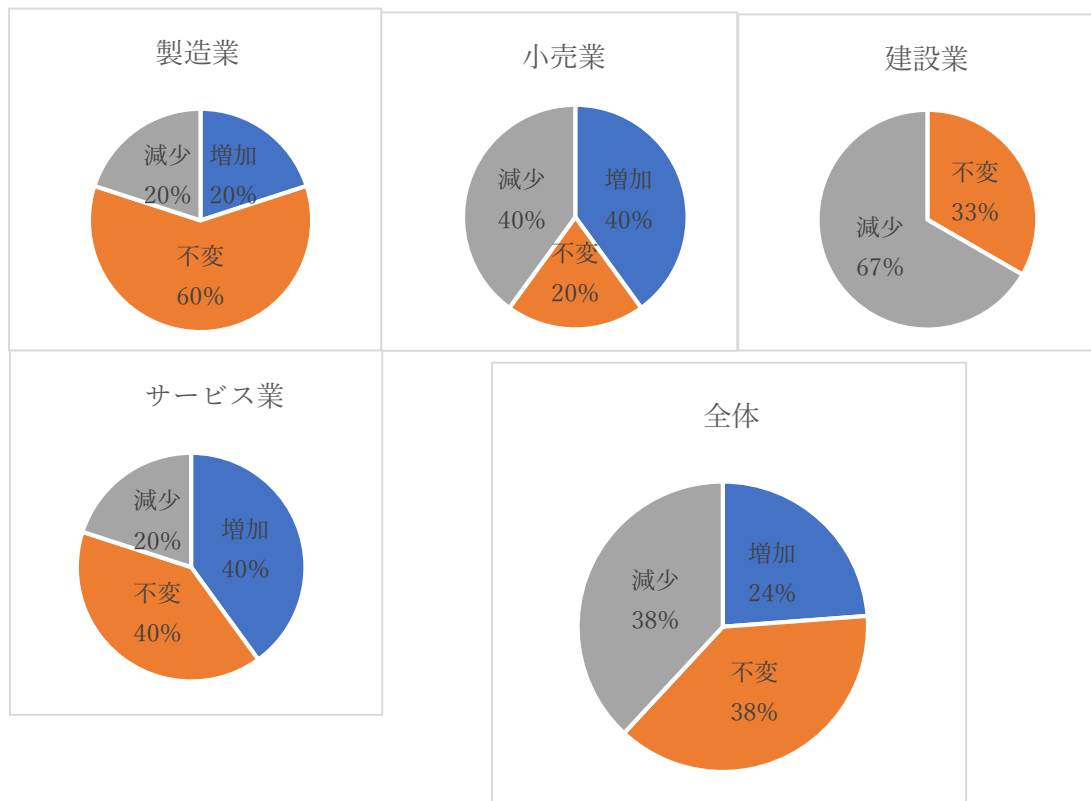
#### 【調査期間】

- ・令和5年度上期（2023年4月～9月期）

### 2. 調査結果

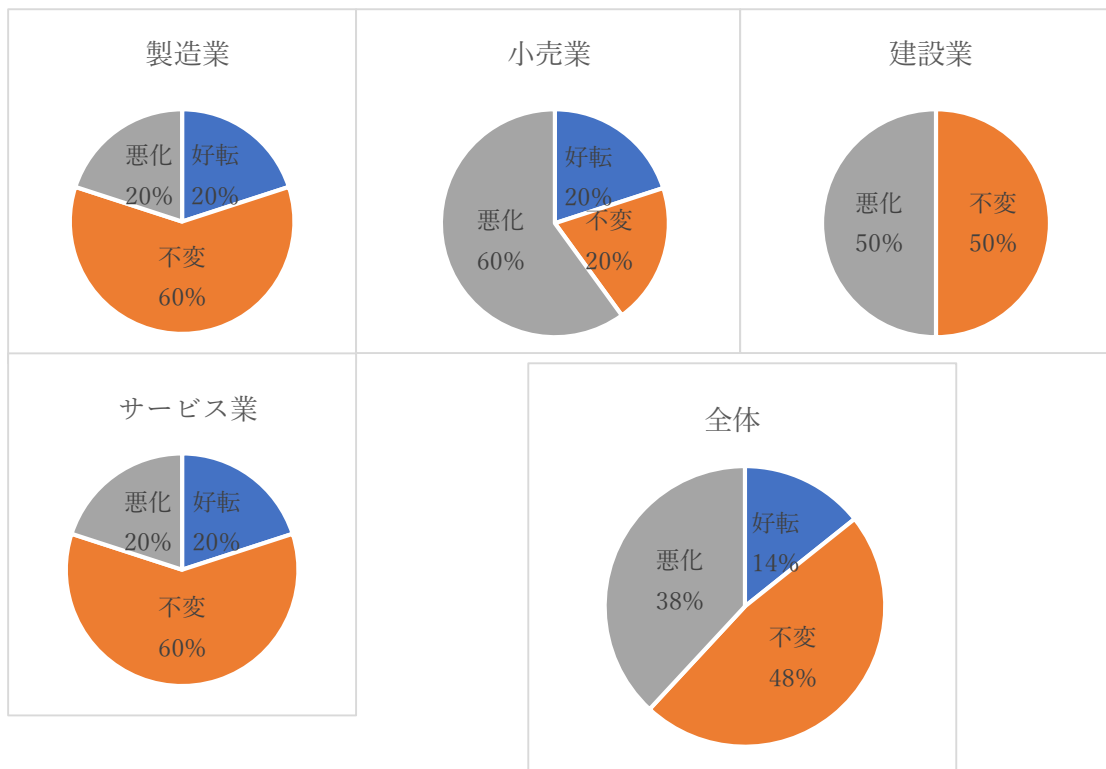
#### ① 今期（2023年4月～9月）の状況は前年同期（2022年度）に比べてどうですか

#### 【売上高】



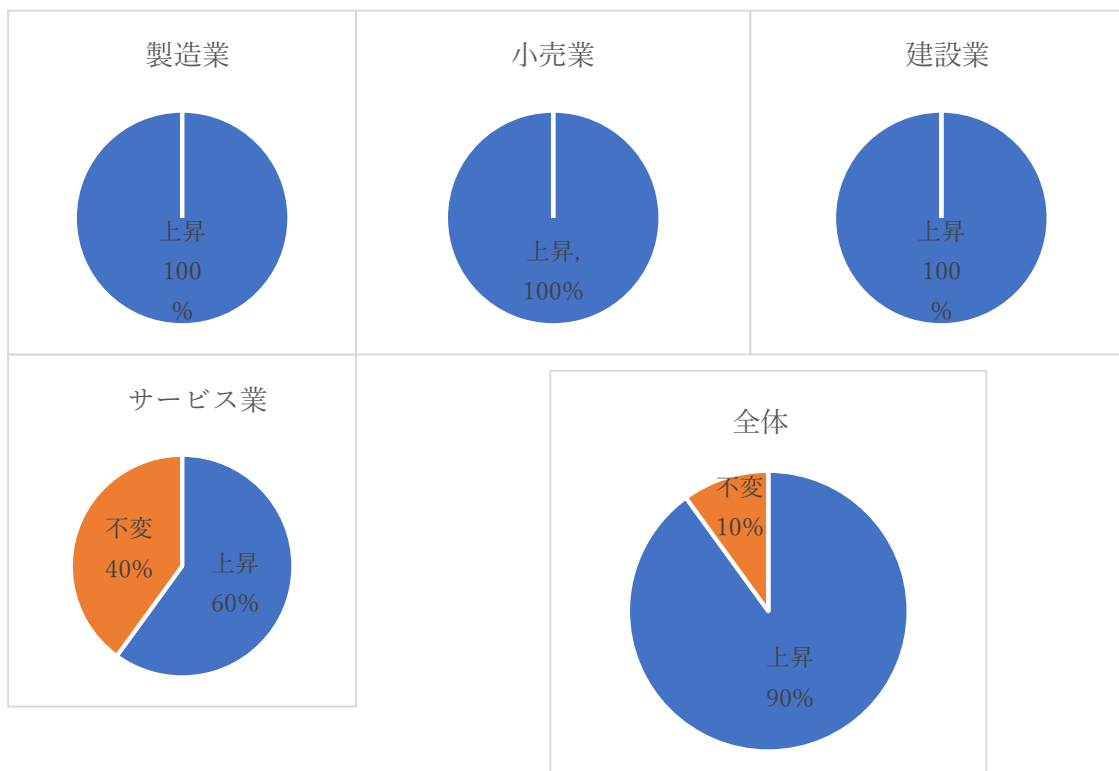
- ・全体的には不変から減少よりの結果となったが4分の一の事業所は増加となった。
- ・業種別にみると小売業、サービス業の増加傾向であり、建設業は減少傾向となった。

【採算（経常利益）】



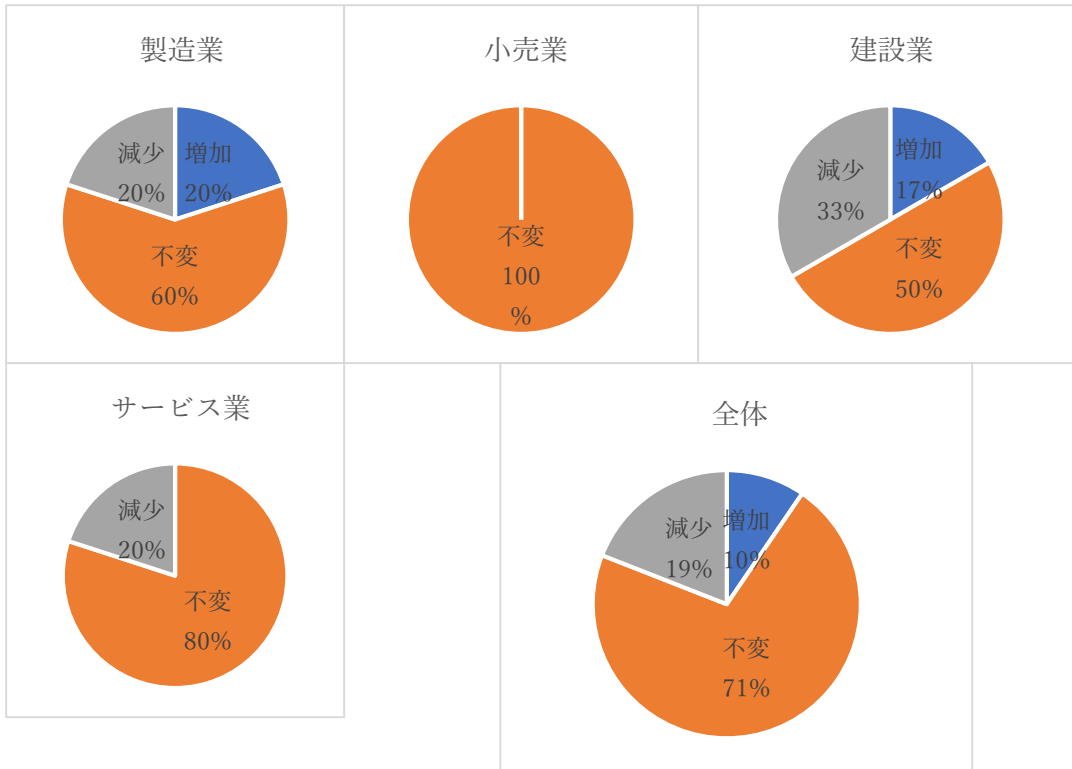
- ・ 全体的には不変から悪化の結果となった。
- ・ 売上が好調の小売業やサービス業でも昨年比で採算があまり取れていない傾向となった。

【仕入単価】



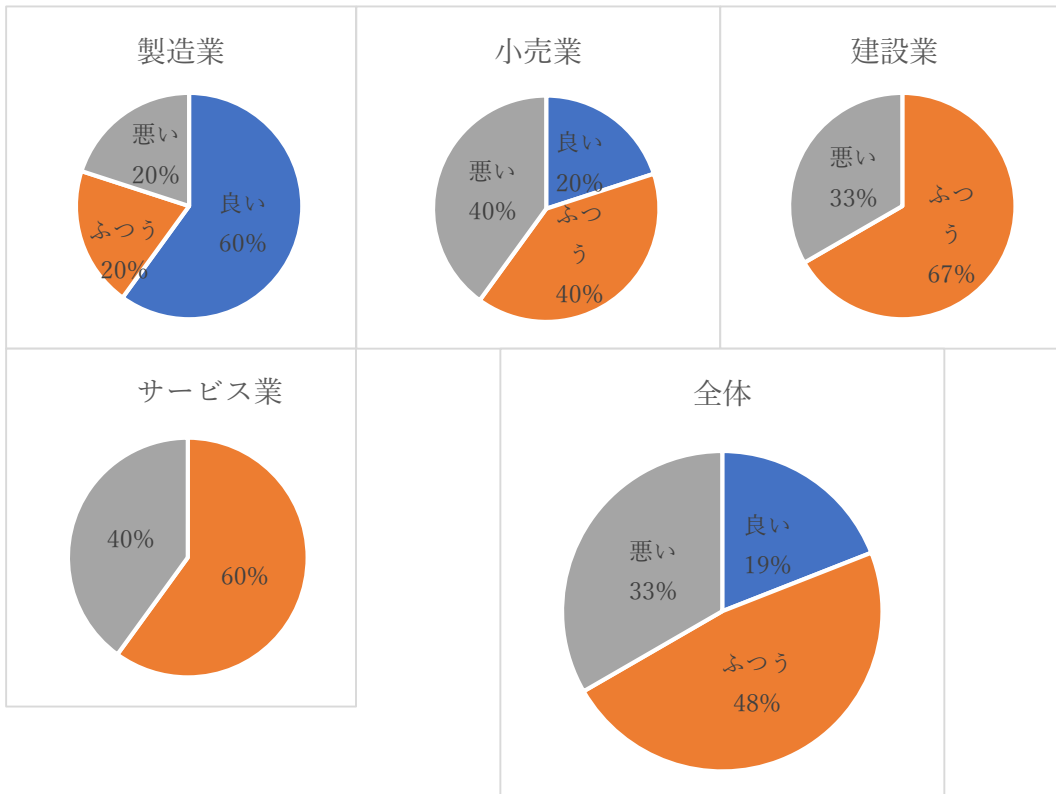
- ・ 全体としてほぼすべての事業所で仕入れ単価が上昇している結果となった。

### 【従業員数】



- ・ 全体としては不変からやや減少傾向があった。
- ・ 製造業や建設業の一部では増加がみられたが、そのほかの業種では従業員数の増加はなかった。

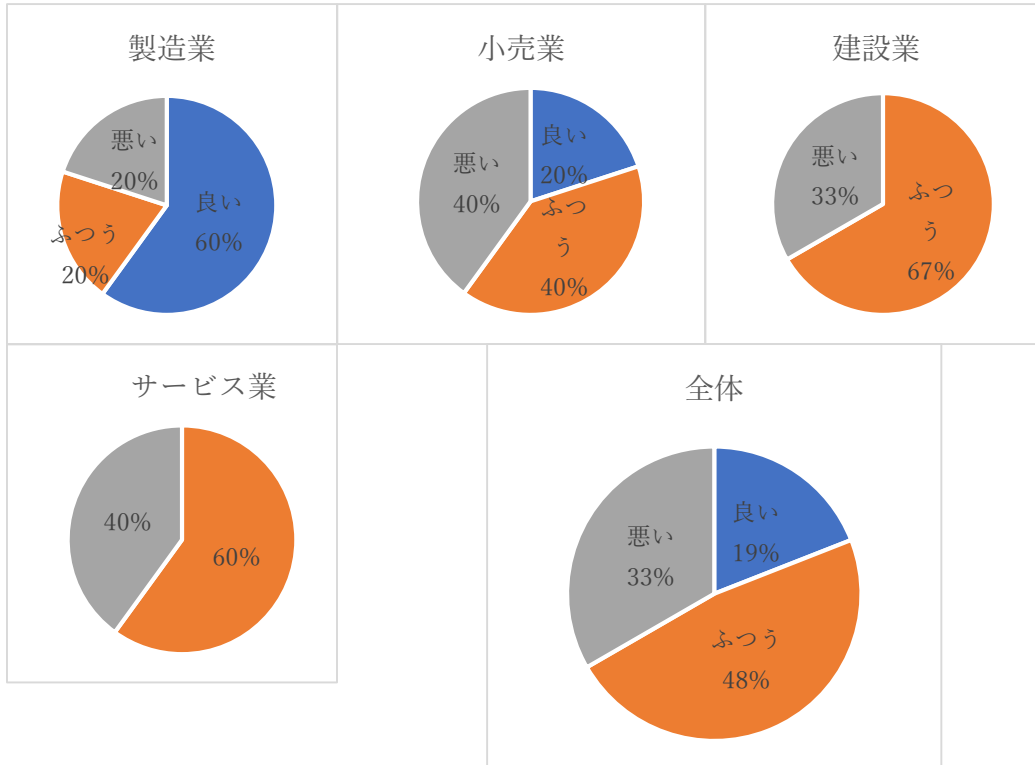
### 【業況(自社)】



- ・ 全体的にはふつうから悪い傾向となった。
- ・ 業種別では製造業の業況が良い結果となり、その他業種はふつうからやや悪い結果となった。

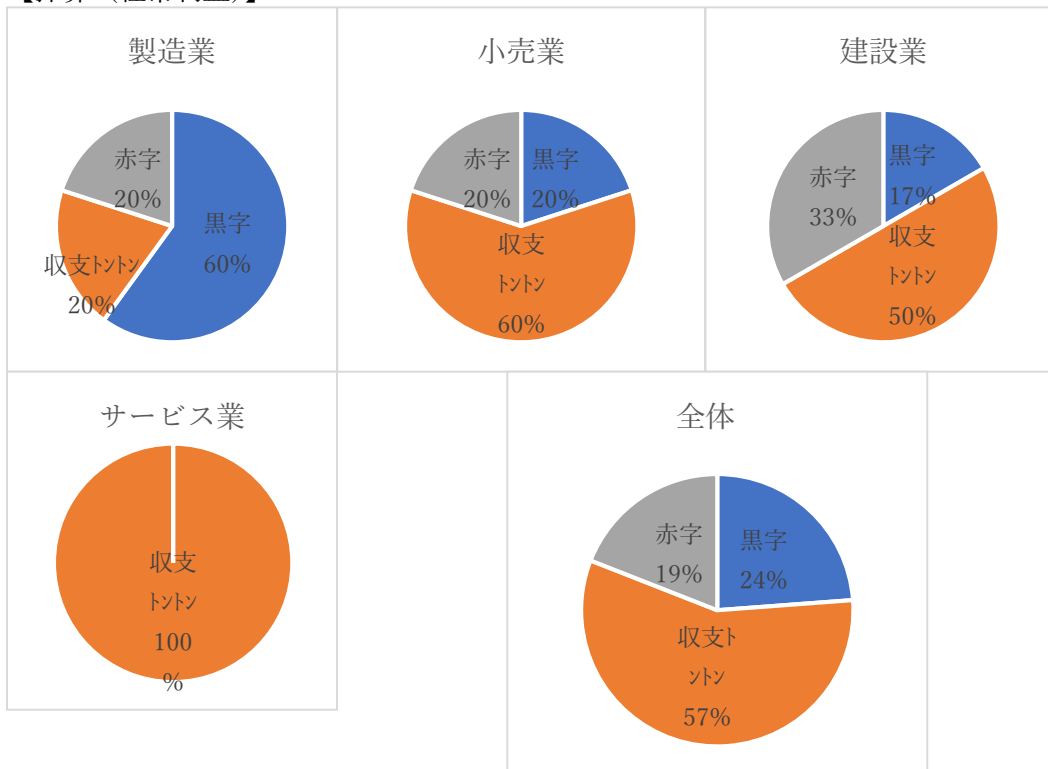
②今期の水準はどうですか

【業況(自社)】



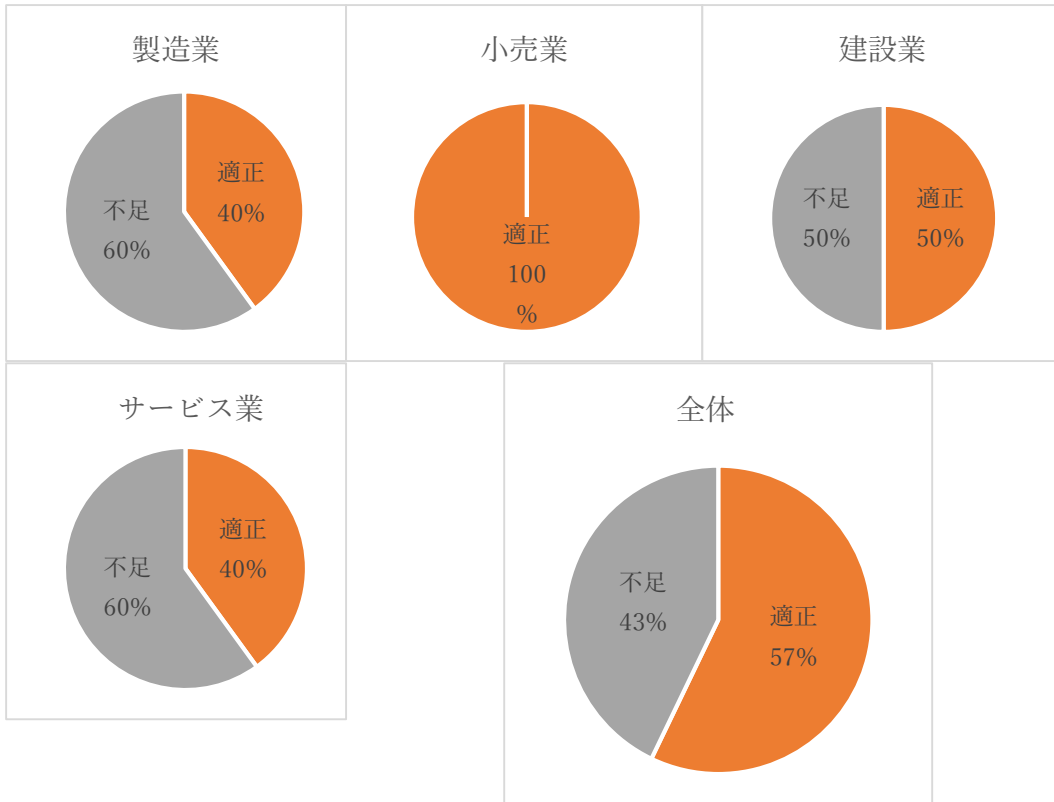
- ・全体的にはふつうから悪い結果となった。
- ・業種別にみると製造業が良い結果となった。

【採算(経常利益)】



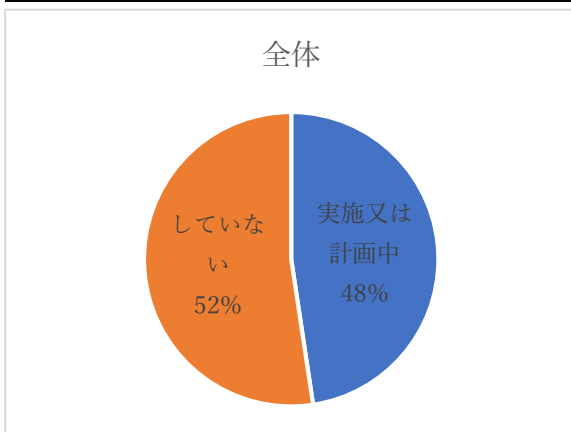
- ・全体的には収支トントンから黒字傾向となった。
- ・業種別では製造業が黒字の割合が多く、そのほかの業種でも赤字は少数であった。

【従業員数】



- ・ 全体的には適正からやや不足気味の結果となった。
- ・ 業種別では、業況の顕著な製造業やサービス業の人手不足が目立つ結果であった。

③今期および来期（2023年10月～24年3月期）の新規設備投資を実施又は計画していますか



- ・ 全体的にはおよそ半分程度が新規設備投資の実施又は計画しており企業体力の差がでる結果となった。

(投資内容)

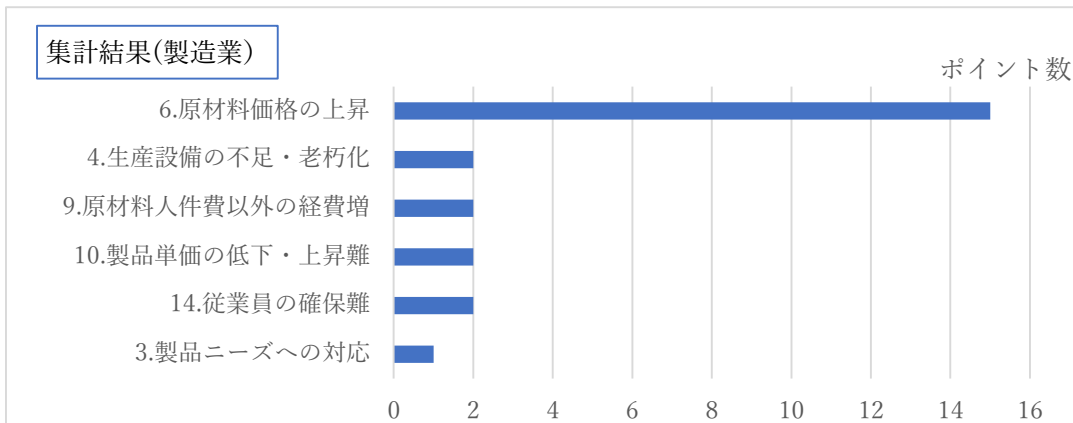
自動包装機（製造業）、駐車場（製造業）、機械の入替（製造業）、タンクローリー（小売業）  
 ロールカーテン・ライト・冷蔵庫（小売業）、バックホー（建設業）、生コン（建設業）、  
 機会刃の入替（建設業）、店舗リフォーム（サービス業）、栗皮むき機・大型冷蔵庫（サービス業）

④今期直面している経営上の問題点を重要度の高い順に3つ以内選んでください

【製造業】

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 01 大企業の進出による競争の悪化  | 10 製品（加工）単価の低下・上昇難 |
| 02 新規参入業者の増加       | 11 金利負担の増加         |
| 03 製品ニーズの変化への対応    | 12 取引条件の悪化         |
| 04 生産設備の不足・老朽化     | 13 事業資金の借入難        |
| 05 生産設備の過剰         | 14 従業員の確保難         |
| 06 原材料価格の上昇        | 15 熟練技術者の確保難       |
| 07 原材料の不足          | 16 需要の停滞           |
| 08 人件費の増加          | 17 その他             |
| 09 原材料費・人件費以外の経費の増 |                    |

回答欄	
1位	
2位	
3位	



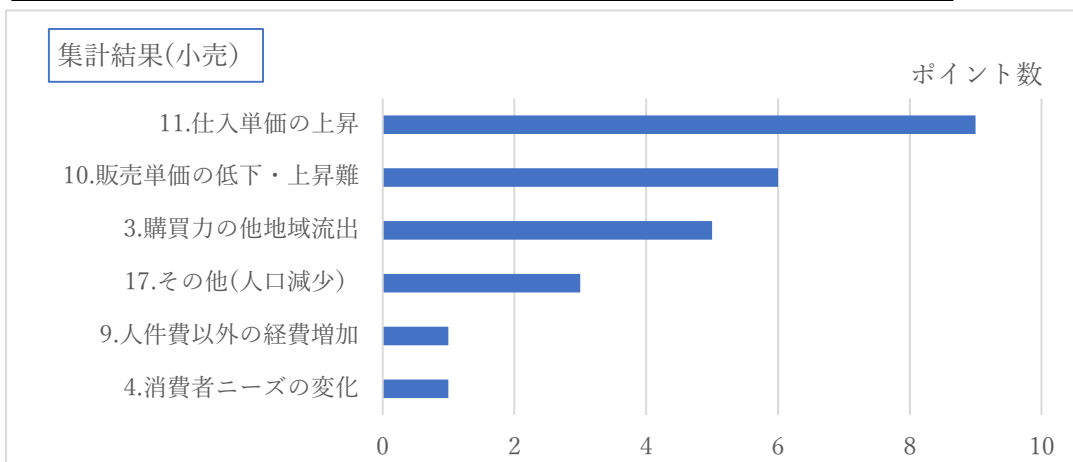
※1 1位：3ポイント 2位：2ポイント 3位：1ポイントにて集計

※2 グラフ表示項目以外該当なし

【小売業】

- |                       |                |
|-----------------------|----------------|
| 01 大型店・中型店の進出による競争の激化 | 10 販売単価の低下・上昇難 |
| 02 同業者の進出             | 11 仕入単価の上昇     |
| 03 購買力の他地域への流出        | 12 金利負担の増加     |
| 04 消費者ニーズの変化への対応      | 13 代金回収の悪化     |
| 05 店舗の狭隘・老朽化          | 14 事業資金の借入難    |
| 06 駐車場の確保難            | 15 従業員の確保難     |
| 07 商品在庫の過剰            | 16 需要の停滞       |
| 08 人件費の増加             | 17 その他         |
| 09 人件費以外の経費の増加        |                |

回答欄	
1位	
2位	
3位	



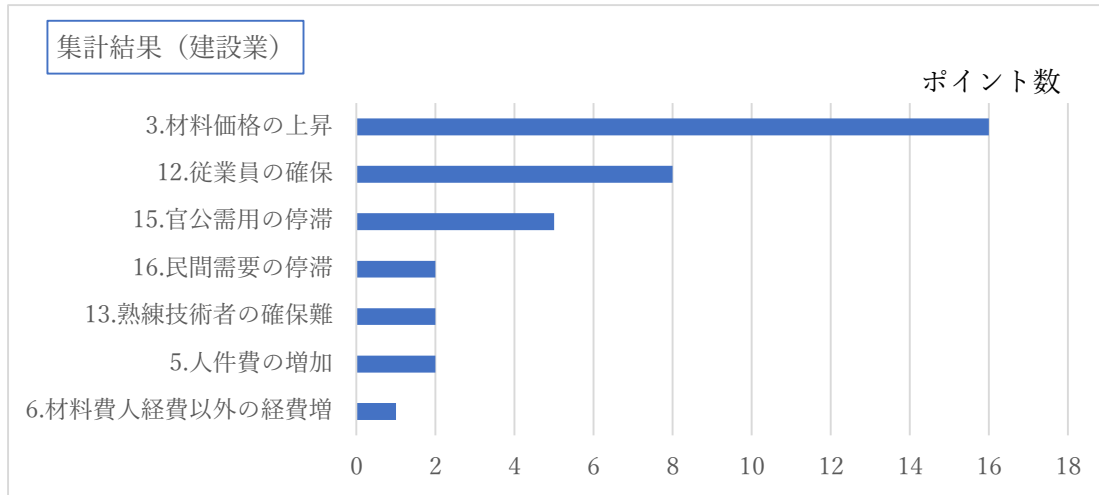
※1 1位：3ポイント 2位：2ポイント 3位：1ポイントにて集計

※2 グラフ表示項目以外該当なし

【建設業】

01 大企業の進出による競争の悪化	10 取引条件の悪化
02 新規参入業者の増加	11 事業資金の借入難
03 材料価格の上昇	12 従業員の確保難
04 材料の入手難	13 熟練技術者の確保難
05 人件費の増加	14 下請業者の確保難
06 材料費・人件費以外の経費の増加	15 官公需要の停滞
07 請負単価の低下・上昇難	16 民間需要の停滞
08 下請け単価の上昇	17 その他
09 金利負担の増加	

回答欄	
1 位	
2 位	
3 位	



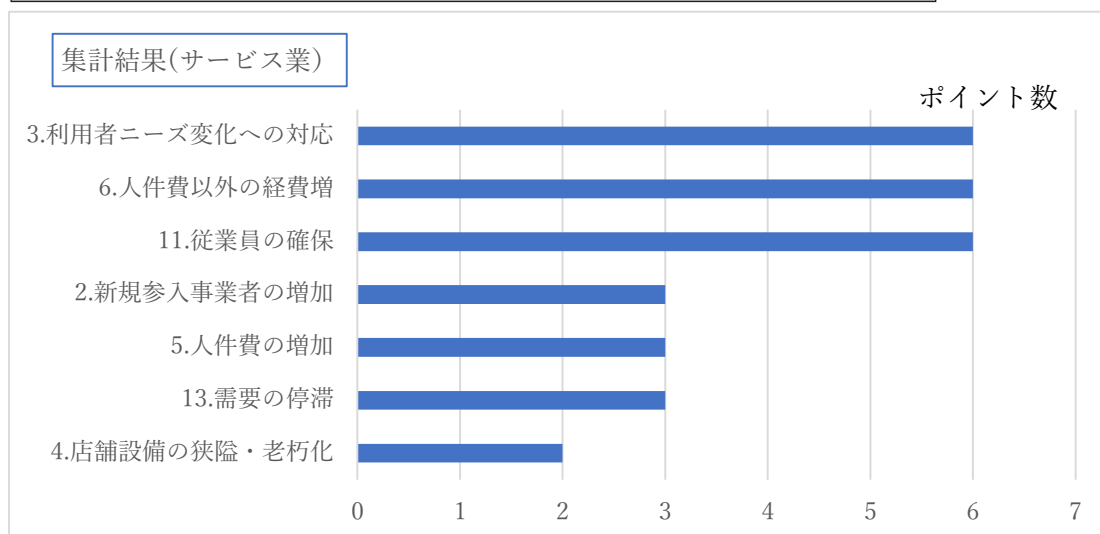
※1 1位：3ポイント 2位：2ポイント 3位：1ポイント にて集計

※2 グラフ表示項目以外該当なし

【サービス業】

01 大企業の進出による競争の激化	09 金利負担の増加
02 新規参入業者の増加	10 事業資金の借入難
03 利用者ニーズの変化への対応	11 従業員の確保難
04 店舗施設の狭隘・老朽化	12 熟練技術者の確保難
05 人件費の増加	13 需要の停滞
06 人件費以外の経費の増加	14 その他
07 利用料金の低下・上昇難	
08 材料等仕入単価の上昇	

回答欄	
1 位	
2 位	
3 位	



※1 1位：3ポイント 2位：2ポイント 3位：1ポイント にて集計

※2 グラフ表示項目以外該当なし



⑤自社業況判断の背景について、貴社が感じておられることはなんですか

- ・高齢過疎化が進んでいる（小売業）
- ・ネットスーパーの台頭（小売業）
- ・電気代等の経費の高騰（小売業）
- ・人口減少が影響している（建設業）
- ・仕入単価・エネルギーコスト・人件費の上昇（サービス業）
- ・売り上げは伸びているが経費が上がってきているので全体で見たら利益が伸びない（サービス業）

(3) 2023年上期景気動向 まとめ

県内経済はコロナ禍からの経済動向回復により、緩やかに持ち直しつつある。続く物価上昇と円安進展が懸念材料とされる。

本商工会地域では製造業は好調ではあるものの、円安と原材料・原油価格、人件費の上昇の流れに対応できずコスト高を価格に転嫁できていない傾向もある。下半期の見通しとしても不変から悪化と回答する事業所が多く、今後も厳しい状況が続くと考えられる。また、本商工会地域において高齢化は顕著であり、事業承継できずに廃業となる事業所も今後増えると予想される。